

令和3年度学校生活アンケート結果の報告

多可町立杉原谷小学校

昨年末に「学校生活アンケート」を実施しましたところ、保護者の皆様にはご多忙の中ご協力いただき有り難うございました。同時に実施しました児童アンケートと併せまして、集計結果並びに考察を、以下の通りお示しさせていただきます。

なお、項目ごとに経年比較をしておりますが、評価項目を一部見直した関係で、項目によっては比較期間が短くなっております。ご了承ください。

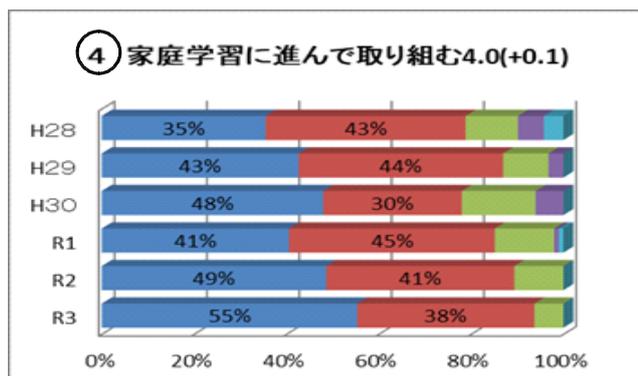
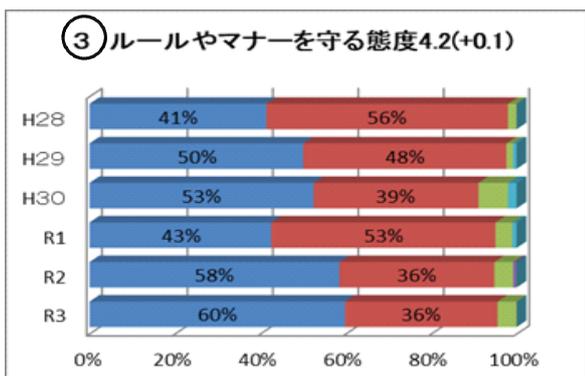
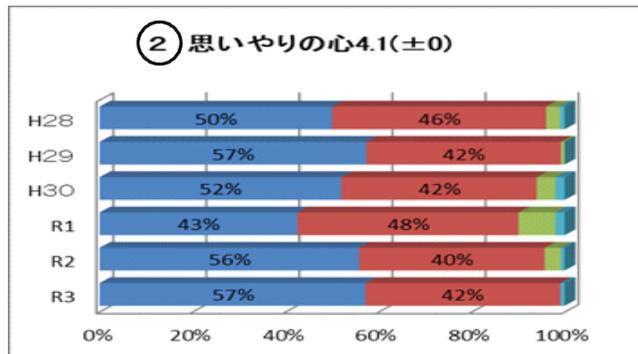
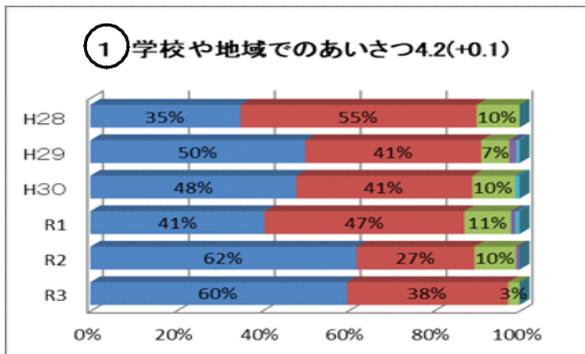
- 1 実施日 令和3年12月
- 2 回答数 保護者 112名、 児童 112名
- 3 評価点について

○設問末尾の点数は、できている5点/ややできている3点/やや不十分2点/不十分0点として平均したものです。また、その後の（ ）は昨年度の評価点との比較です。

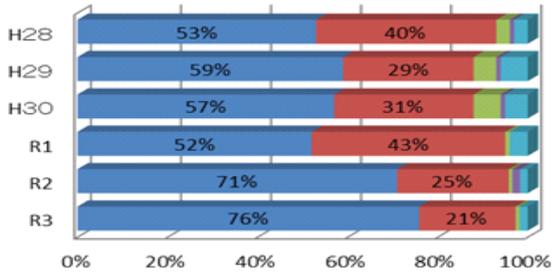
平均点数が 4.0点以上	・・・優れている ○
3.5以上4.0点未満	・・・普通 □
3.5点未満	・・・努力がいる △ で評価しました。

【保護者アンケートより】

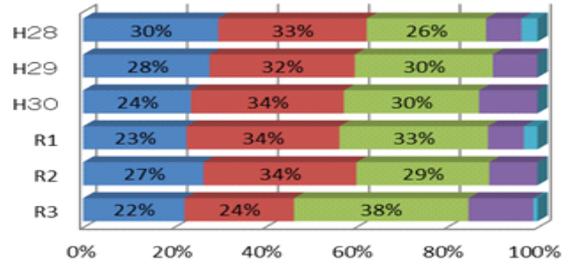
左より できている(青)→ややできている(赤)→やや不十分(緑)→不十分(紫)→わからない(水色)



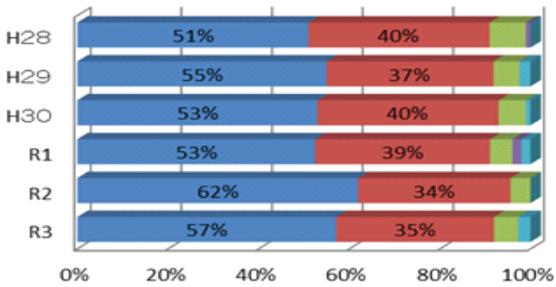
⑤ 基礎学力がつく授業づくり4.5(+0.2)



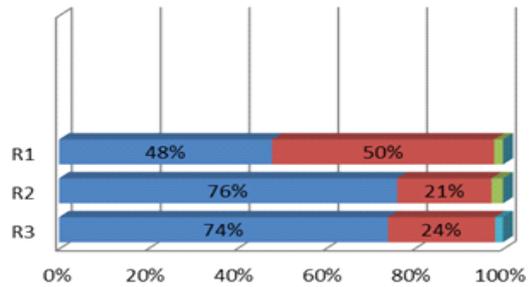
⑥ 家庭での読書2.6(-0.3)



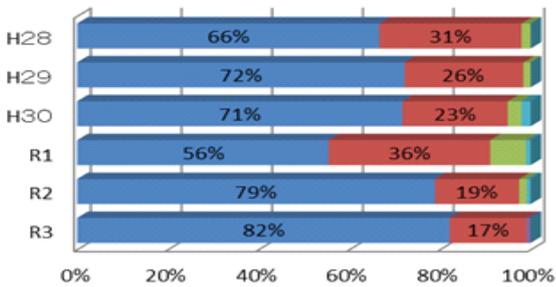
⑦ 体カづくりが進んでいる4.0(-0.2)



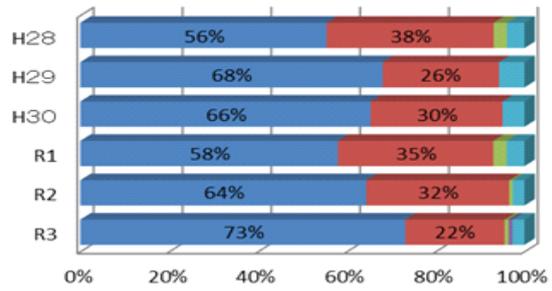
⑧ 健康なくらしに努めている4.4(-0.1)



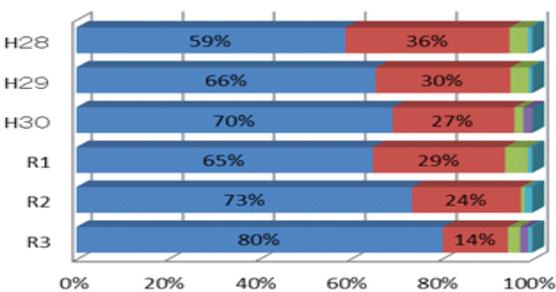
⑨ 友達と仲良く4.6(+0.1)



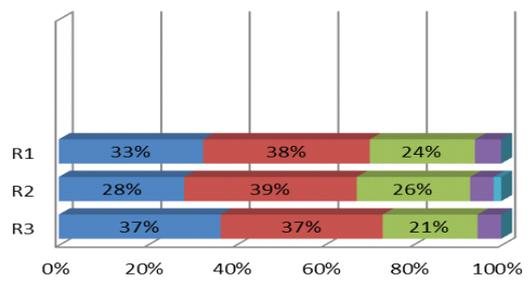
⑩ 特色ある学校づくり4.4(+0.2)



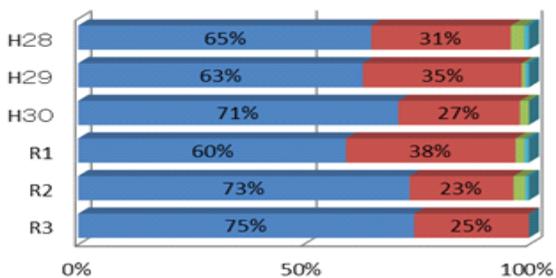
⑪ 安心安全の確保4.5(+0.1)



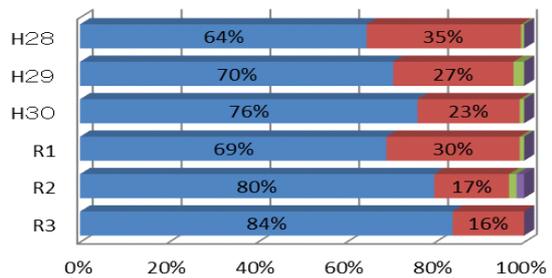
⑫ PCなどのルールを守る(家庭) 3.4(+0.3)



⑬ 学校の取組を伝えているか 4.5(+0.1)



⑭ 教育活動に満足している4.7(+0.2)



－考察－

保護者の皆様からのアンケート結果を見ますと、14の設問の内、12項目で「優れている」という評価をいただきました。また10項目で昨年度の評価よりも点数が高くなっています。

特に評価が高かった設問は「5基礎学力がつく授業づくりができています」(4.5)「8健康なくらしに努めている」(4.4)「9友だちと仲良くできています」(4.6)「10特色ある学校づくりができています」(4.4)「11子ども達の安心安全の確保に努めている」(4.5)「13学校の取組を伝えている」(4.5)「14教育活動に満足している」(4.7)があげられます。

まず、「5基礎学力がつく授業づくりができています」ですが、本校は2つの研究テーマを掲げて1年間取組を進めて参りました。一つは確かな学力の育成。もう一つは、深い学びにつながる対話的な学びの考察です。具体的に述べますと、確かな学力の育成に向け、以下の取組を行いました。①当たり前に取り組み、最後までやり抜く態度の育成②学習規律の徹底③読解力の向上に向けた速読解の実施④家庭と連携した家庭学習週間の実施です。①②④は数年前から継続して取組を進めており、年を追うごとに定着が図れています。③は本年度より新たに行っている取組であり、今後成果が見込まれます。このような取組が保護者の皆様の高い評価に繋がったと考えます。また、対話的な学びについても研修を重ねており、対話的な場面が授業の中に多く組み込まれ、それが子ども達の思考の深まりに繋がってきております。

続いて、「8健康なくらしに努めている」「11子ども達の安心安全の確保に努めている」については、学校では最優先事項に掲げ取組を継続してきております。具体的には『保健便り』の発行や『治療勧告』『コロナ対応についての案内』等、積極的に情報を提供するよう心がけてきました。また、保護者の皆様や『かみっこサポート』の応援を得ながら立番を行いました。学校では定期的に安全点検を行い危険箇所は迅速に修理するよう心がけています。更に避難訓練は、地震・火災・水害とさまざまな災害を想定して学期ごとに行い、教職員研修として不審者対応研修にも取り組みました。

「9友だちと仲良くできています」についても高い評価をいただきました。学校では、子ども達のコロナ禍による学校生活や友だち関係への不安を払拭するために、心の健康教育を実施したりストレスチェック並びに生活相談シートを活用し児童と面接やカウンセリングを行ったりしてきました。また、友だちの優しさに気づくよう毎月の第一週目を『ぼかぼか週間』と定め、人権意識の高揚に努めてきました。その成果の一端が表れたものと考えます。今後も、しっかりと子どもに寄り添い、子ども同士の繋がりが深まる教育活動を展開していきます。

「13学校の取組を伝えている」では、参観日やオープンスクールが延期・中止になったり行事が縮小されたりしましたので、学校だよりや杉原谷小学校ホームページ等で学校行事や学習活動の様子を伝えてきました。特にホームページについては、『学校の話題を新鮮なうちに家庭に届ける』という思いで発信しております。また、本年度は学期ごとに保護者懇談会を実施し、お子様の様子を伝える機会を持たせていただきました。今後も、新しい情報を積極的に発信するとともに、家庭の思いを汲みながら、お子様の心と体の成長に向け力を合わせていきたいと思っております。不十分な点もあろうかと思っておりますが、連携強化に向け今後も取組を進めて参ります。

最後に、「14教育活動に満足している」が、4.7点(5点満点)という最高の評価をいただきました。この評価は、保護者の皆様が本校の教育活動に関心と期待を寄せていただいている証

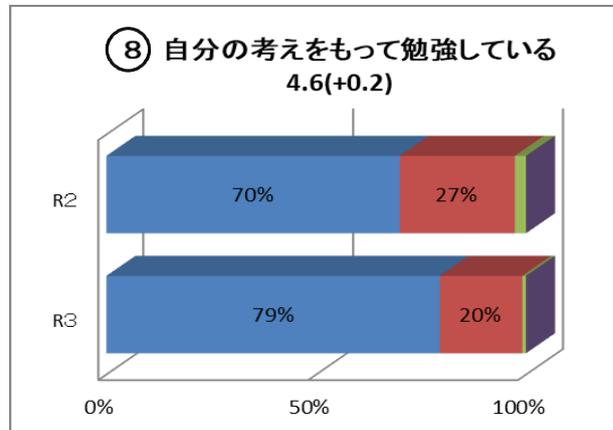
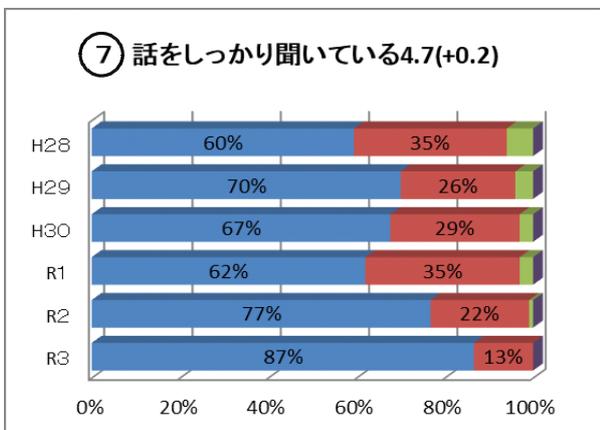
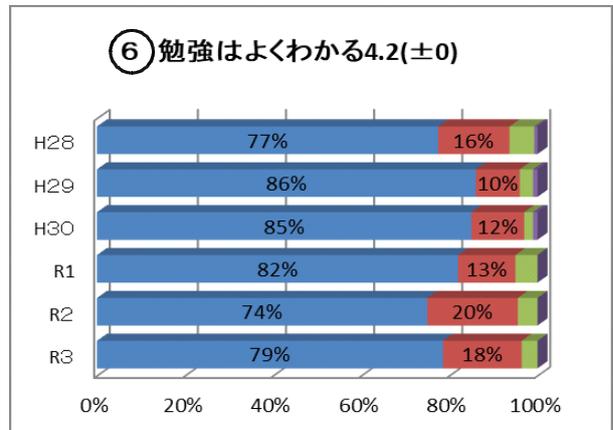
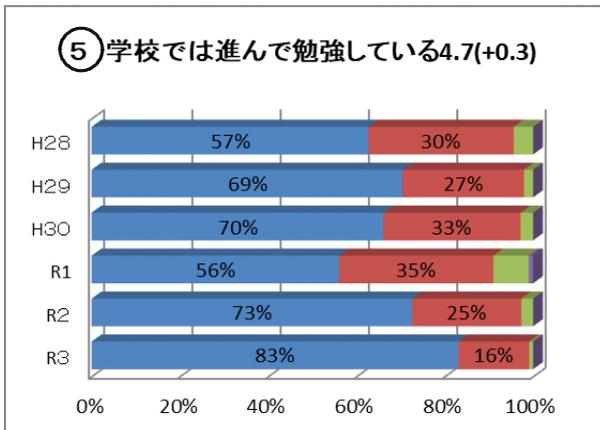
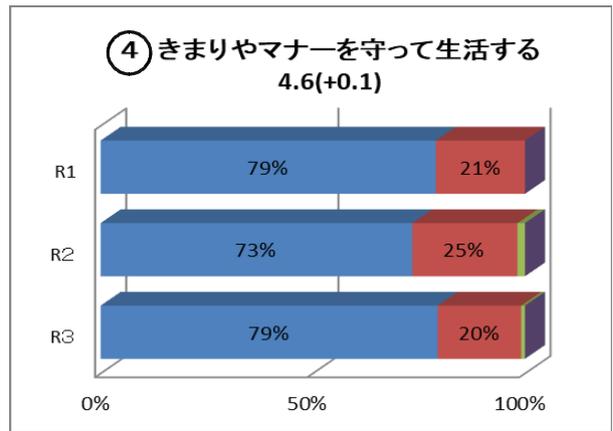
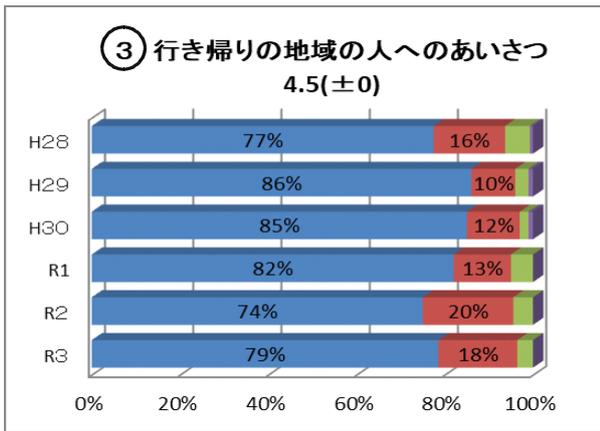
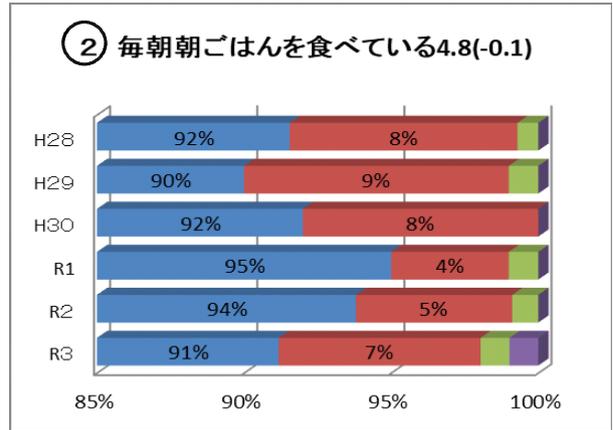
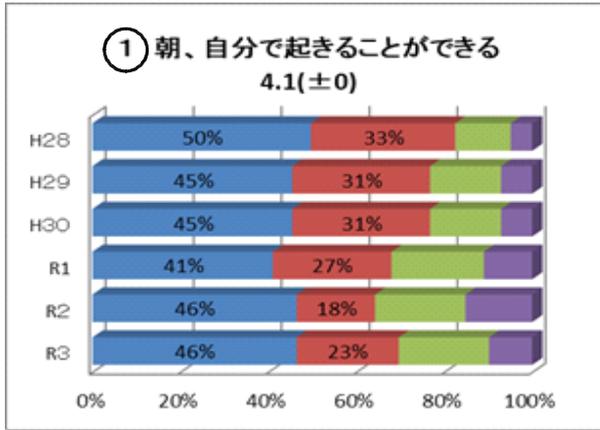
だと考えます。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、子ども達の安全を図ると同時に子ども達の活動や成長を保障するために、学校と家庭が力を合わせて取り組んできました。子ども達はそれに応えるために、学習課題に粘り強く取り組みました。また行事では、他学年への心遣いや思いやりを大切にしながら目標に向かって直向きに取り組む姿を見せてくれました。子ども達の努力と保護者の皆様やご家族のお子様への言葉かけに感謝申し上げますとともに、学校として現状に満足することなく、子ども達の更なる成長に向け取組を進めていく覚悟です。

一方、評価の低かった設問は、昨年に引き続き「6家庭での読書」(2.6)「12PCなどのルールを守る」(3.4)があげられます。

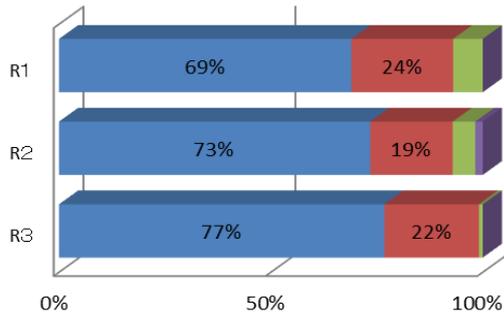
「6家庭での読書」につきましては、ここ数年ほぼ横ばい状態が続いております。これを6頁にあげております子どもアンケート「10読書をしているか」(3.8)と比較しますと、子どもの方が『できている』と考えている児童が多くいることが分かります。学校では、読書週間を設定し読み聞かせ会を持ったり図書便りを発行したりし、子ども達が本にふれる機会を増やす工夫をしております。更に、図書ボランティアや多可町図書館と連携し、読書環境の整備に努めてきました。そのような取組の成果として、子ども達の「読書をしている」という意識が高くなっていることが考えられます。また学校では隙間時間を利用して読書に励む子ども達も多くおり、読書への関心は低くないものと思われれます。ただ、読書よりも魅力的なユーチューブやネットゲーム等に時間を割いてしまう現状があります。7頁にあげております子どもアンケート「19ゲーム・ライン・YouTubeにかける時間」(2.3)が表すように、年々ゲーム等に時間を費やす子どもが増加していることが分かります。そんな状況に待ったをかけるために、家庭においては、PC使用のルールづくりについて再確認いただくことが必要であると感じます。そうすることで、「12PCなどのルールを守る」の評価も改善されていくと考えます。

子ども達の家庭生活に占めるSNS利用時間の増加は、子ども達の生活習慣に悪い影響を及ぼしています。学校では、保護者とともにネット依存症の恐ろしさや生活習慣の乱れ、ネットいじめ等への関心を高め、情報モラルを身につけた子どもの育成をめざした取組を進めて参ります。そして読書への興味づけと並行して進める中で、子ども達の読書ばなれを防ぎ、読書の習慣化に繋げていきたいと思ひます。

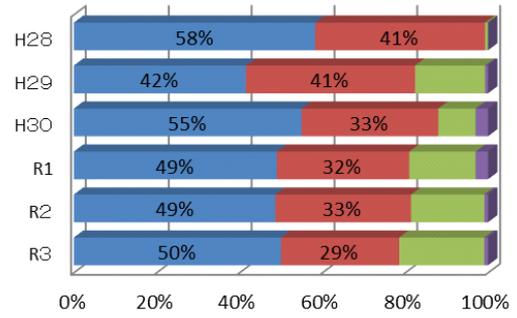
【児童アンケートより】



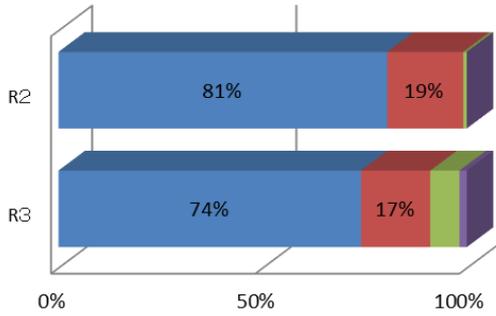
⑨ 進んで宿題をしている4.5(+0.1)



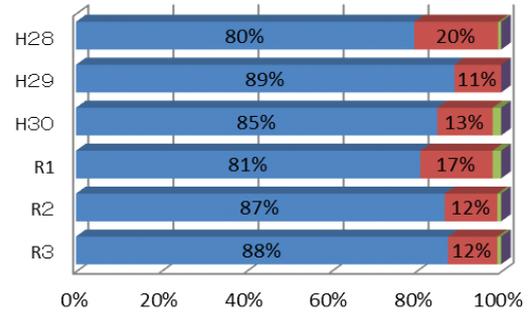
⑩ 読書をよくしている3.8(±0)



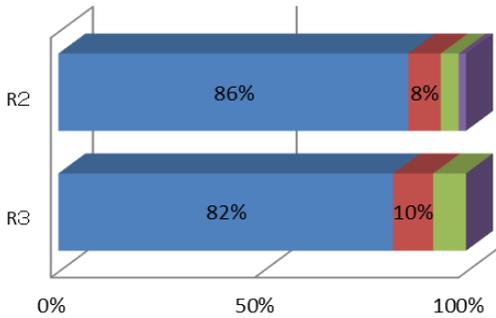
⑪ 体力づくりに進んで取り組む
4.5(+0.1)



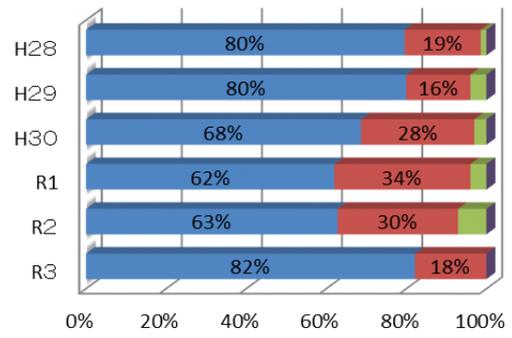
⑫ 友達と仲良く過ごしている4.7(±0)



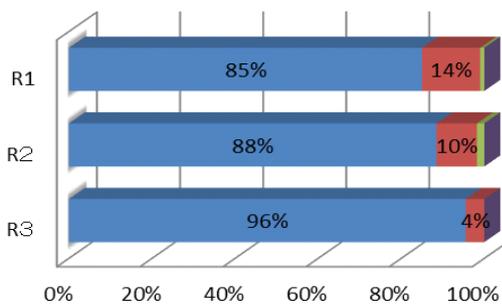
⑬ 困った時に相談できる人がいる
4.6(±0)



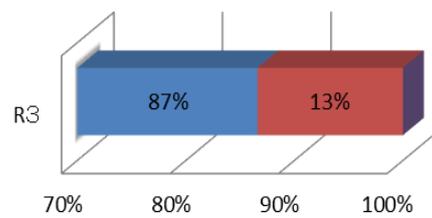
⑭ 地域の良さに気づく4.6(+0.4)

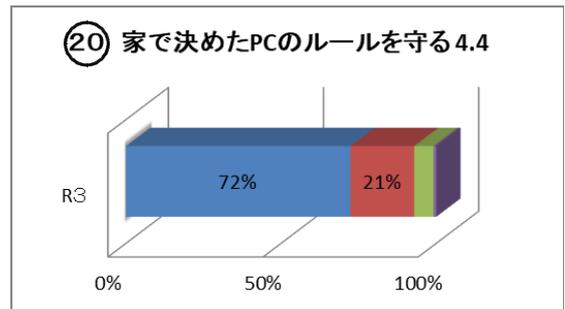
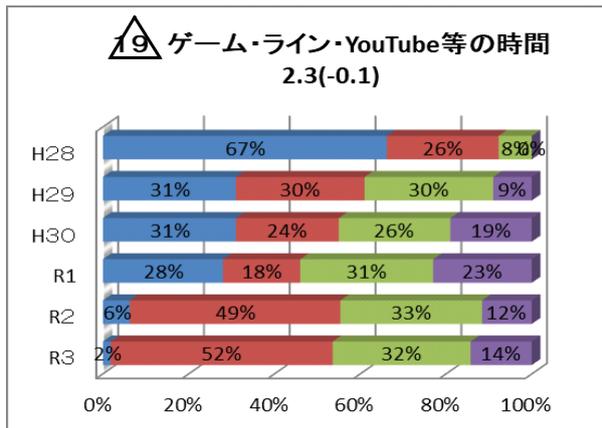
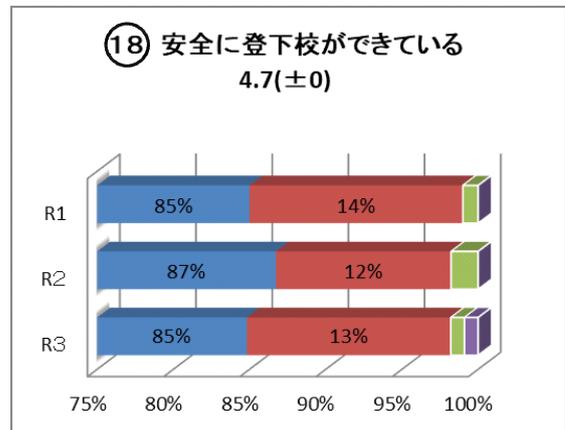
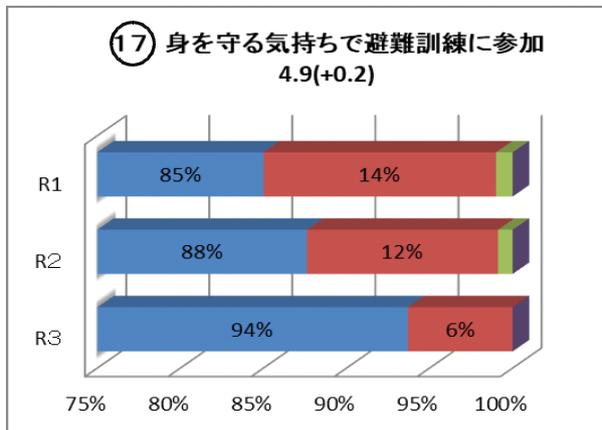


⑮ 学校行事に進んで取り組む
4.9(+0.2)



⑯ 将来の夢や目標 役に立つ人間に
4.7





(青:しない 赤:~1時間 緑:1~2時間 紫:2時間以上)

—考察—

児童アンケートの結果を見ると、20の設問の内18項目で「優れている」という評価をしています。また、9項目で昨年度の評価よりも点数が高くなりました。特に評価が高かった設問は、「2毎朝ご飯を食べている」(4.8)「4きまりやマナーを守って生活する」(4.6)「5学校では進んで勉強している」(4.7)「7話をしっかり聞いている」(4.7)「8自分の考えを持って勉強している」(4.6)「12友だちと仲良く過ごしている」(4.7)「13困ったときに相談できる人がいる」(4.6)「14地域の良さに気づく」(4.6)「15学校行事に進んで取り組む」(4.9)「16将来の夢や目標がある・役に立つ人間になりたい」(4.7)「17身を守る気持ちで避難訓練に参加した」(4.9)「18安全に登下校ができている」(4.7)があげられます。

まず、「4きまりやマナーを守って生活する」では、コロナ禍により行動が制限されながらも、きちんとルールを守る姿が見られます。また、生活指導部会が児童会とタイアップして月目標を設定し、月末には振り返りの機会を持つことで、きまりやマナーを守る事への意識が育ってきています。学級指導や道徳教育の充実も図りながら、事の善悪を判断し、責任ある行動がとれる児童、そして間違った行動に対して意見が言える児童を育てて参ります。

次に「5学校では進んで勉強している」「7話をしっかり聞いている」「8自分の考えを持って勉強している」については、昨年度よりポイントを伸ばしています。主体的な対話を通して深い学びにつながる授業づくりに取り組んできた成果が出てきていると考えます。対話をするためには、自らの考えを持つことが必須となります。そして対話を通じて自らの思いを発信することの楽しさや考えが深まったときの喜びが、更なる学習意欲へと繋がっています。現状

に甘んじることなく、切磋琢磨する学習集団づくりをめざし、継続して取組を進めます。

続いて「12友だちと仲良く過ごしている」「13困ったときに相談できる人がいる」についてですが、日々の生活の中で気持ちの行き違いによる子ども同士のトラブルはよくありますが、トラブルを解決する過程にて、子ども達は友だちとの接し方やつきあい方を学び、より良い人間関係が構築されてきております。また本校の特色である『縦割り班活動』では、その牽引役を6年生が務め、5年生以下をしっかりとまとめ上げています。上級生は下級生に対し気配りを見せる場面が多く見られ、下級生の中に上級生へのあこがれの気持ちが芽生えています。更に休み時間にも、学年の枠を取り払い遊びに熱中する児童の姿があり、上級生の模範的な行動が下級生に受け継がれることで、心遣いある行動・責任ある行動がとれる児童が増えています。更に昨年度から行っている『ぼかぼか週間』の実施も、友だちの優しさや心遣いに目を向ける機会となっており、人権意識の高まりにつながっております。ただどの児童も人間関係で悩むことがあります。自分たちだけでトラブルを上手く解決できない時もあります。一人で悩みを抱え込まないよう、学校として常に相談しやすい環境づくりを図るとともに、児童観察や学校生活相談シート、ストレスチェックなどを通じて、問題行動やいじめ等の早期発見に努めて参ります。また問題が発生した時には、保護者と連携し迅速な対応を心がけます。

最後に、「14地域の良さに気づく」「15学校行事に進んで取り組む」「16将来の夢や目標がある・役に立つ人間になりたい」については、コロナ禍のもと短時間で成果を上げるために、明確なめあてを設定し、準備や練習そして学習にメリハリをつけ取り組むことで、子ども達は充実感や達成感が得られていると考えます。更に、「17身を守る気持ちで避難訓練に参加した」「18安全に登下校ができています」(4.7)については、上級生が中心となり安全に配慮しながら登下校を行ったり、本番を想定しながら真剣に避難訓練に取り組んだりできています。また本年度は新たに水難被害を想定した避難訓練を実施することで子どもの身を守ることへの意識向上にも繋がったように思います。安全確保に向け、気になることがありましたら学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

一方、「19ゲームやライン、ユーチューブの時間」(2.3)が飛び抜けて悪い評価となっています。これは保護者アンケートの考察にも記しましたように、子ども達の健全な育成に向け、喫緊の課題として危機感を持って対応していきたいと思っております。コロナ禍により生活様式が大きく変わりました。教育界ではGIGAスクール構想がスタートし仕事でもリモートワークが多く採用されています。今やSNSはなくてはならない機器となっていますが、一方でネットゲームによるトラブルやネットを使った誹謗中傷等深刻な問題が起きています。「20家で決めたPCのルールを守る」は4.4と高い評価が出ており、お子様はご家庭のルールの下で情報機器を使用されていることと思っておりますが、自分は気をつけていても思わぬ落とし穴があったりしますので、学校では引き続き情報モラル等の育成にしっかりと取組を進めていきます。ただ、学校だけでは対応しきれない課題であり、保護者・ご家庭と連携しながら、危機意識を高く持って課題解消に向けた取組を進めていく必要があります。今一度ご家庭においてオンラインゲームやラインでの約束事やユーチューブの視聴時間などについてお子様と話し合いを持っていただくことをお願いします。

さて、新しい年を迎え、職員一同気持ちも新たに、保護者・ご家庭・地域の皆様と連携し子

どもの健全育成に向け全力で取り組んで参ります。今後ともご支援ご指導の程、よろしく願いいたします。また、ご意見・ご相談等がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

☆保護者用学校アンケートの記述分についての回答☆

アンケートの記述部分についても、学校への励ましや要望等前向きなご意見をいただきました。有り難うございました。記述いただいたものについて回答させていただきます。

なお、今回いただいたすべてのご意見をもとに職員でしっかりと意見交流し、今後の教育活動に生かして参ります。ご協力有り難うございました。

○コロナ感染予防に努めながら、色んな行事ができてよかったです。子ども達の学習意欲が高まるように工夫しながら、色んな取組をしてくださり、ありがとうございます。楽しい学校生活が送れていてよかったです。

○コロナ感染予防に努めながら、色んな行事ができてよかったです。運動会でのダンスやリレーは親も子も楽しめました。

○タブレットにダンスの動画を入れて下さっていたので、兄妹で家でも練習していました。タブレットがうまく活用されていて、親子でダンスも楽しめました。色んな取組をしていただきありがとうございます。

○いつもコロナ感染対策をしっかりして下さりありがとうございます。自然学校、運動会など、色々工夫しながら取組め、子ども達も楽しめてよかったです。今できる最大限の取組をして下さったことに感謝しています。

○このコロナ禍の中で色々制約がありますが、子供達の為に考えていただき楽しく過ごせていることに感謝します。これからもよろしくお願い致します。

○先生方のご尽力のおかげで、コロナ禍でも学校行事を中止することもなく、学校生活もほぼ普段通りにできているように思います。何度も会議されて子ども達のことを考えて下さっていること、とても嬉しく思います。いつもありがとうございます。

・学校行事は子ども達の主体性を育てるとともに、友だちと協力して取り組むことの素晴らしさややり遂げたときの満足感を味わわせるのに無くてはならない教育活動であると考えます。そこで、職員で知恵を出し合い、共通理解を図りながら、安全で尚かつ教育効果が上がる方法を探りながら教育活動を進めてきました。その結果、なすべき事に粘り強く取り組む態度や周りの子へ気配りが出来る児童の育成を図ることができたと思います。このような成果が上げられた要因は、保護者やご家庭の皆様のお子様や学校への支援の賜だと考えております。また、子ども達も苦しい環境の中で、よく我慢をしてくれました。その頑張りにも心から賛辞を送りたいと思います。残念ながらコロナの収束は未だ見えてきません。今後も、子ども達の安全を最優先に教育活動を進めていきますので、どうかご理解ご協力を頂きますようお願いいたします。

○縦割り班遊びなど、他の学年の子と交流があるのは、とても良い取組だと思います。登下校中でも、学年にこだわらずに仲良くおしゃべりしている姿を見かけますが、学校でそういった取組をしているからだだと思います。児童数が少ないので、それを生かし、全生徒が仲良く交流できる環境を作っていただきたいと思います。

○縦割り班遊び等を通し、他学年との交流があり、1クラスしかない学校ですが、いろいろな友達との交流ができて、とても素敵だと思います。

・この2年間は、十分に縦割り班活動を行うことは出来ませんでした。少ない活動を大切にしながら、6年生が世話役として、下級生が喜ぶ活動を展開してくれました。特に、1年生の歓迎会や登山にかわる縦割り班交流会では、学年の垣根を取り払い、異年齢が交流する姿は、微笑ましいものがありました。上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生を慕う。本校の伝統が息づいていることを嬉しく思います。今後も、下級生が憧れる上級生を核にして、子ども達の弾む声が響き輝くような笑顔の花が咲く学校づくりに、全職員で取り組んで参ります。

○多可町にある様々な施設（例えばラベンダーパークやまちの駅、役場（本庁）など地元）にどんな公共施設があるのか、どんどん教えてあげるのも良いのかも・・・です。なかなか家族でわざわざ行くことがないので・・・子供が知らない多可町にはまだまだあると思うので。

○ふるさと検定、あれはなかなかいいです。

・PTA会員研修部が中心となり取組を進めていただいている『杉原谷ふるさと検定』は、ふるさとを知る機会となるだけでなく親子や家族の話題提供にもなり、多可町や杉原谷の良さを知る機会として確実に成果があがっています。「灯台もと暗し」と言われるように、身近なことでも知らないことがたくさんあります。郷土の素晴らしさに気づく機会として、ふるさと検定は続けていきたいと思っています。また、コロナが収束し自由に活動が出来るようになれば、町内の施設に足を運び、新たな発見や感動を生む機会を増やしていきたいと思っています。現在は制限をかけながらの活動になっていますが、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

○休憩時間も根気強く、九九のなかなか覚えられない我が子にご指導いただいているとのこと・・・ありがとうございます。

・「努力は嘘をつかない」という言葉がありますが、努力してもすぐに成果が上がらないこともあります。ただ、努力を重ねていくと必ず成果として表れてきます。成果が表れるまでに諦めてしまうと、充実感や達成感を味わうことが出来ません。厳しくともやり続けることが大切だと思います。九九もそのひとつです。子ども達は途中で諦めそうになることもあるでしょうが、保護者の皆様と力を合わせながら常に励まし、頑張りを賞賛しながら、成功体験を味わわせるよう、粘り強い取組を進めていきたいと思っています。

○6年生で行った、杉原紙の卒業証書づくり。子ども達も友達同士で色々な言葉を交わし行う作業は、最高の思い出となり、心に残る作業だったと思います。

- ・本校の特色ある取組である「杉原紙の卒業づくり」は、全国でも例を見ない程の活動であり、本校でしっかりと根付いています。6年生だけの活動に終わるのではなく、1年生から5年生までも、紙漉までの工程の一部に関わり、6年間の集大成が卒業証書づくりとなっています。きっと保護者の中にも卒業証書を漉いた思い出をお持ちの方も多いことでしょう。卒業証書づくりが話題に上がり親子の会話が弾む光景を想像したとき、卒業証書づくりの重みを痛感するばかりです。代々受け継がれてきたこの活動が出来るだけ良い形で継承できればと願っています。

○あいさつがしっかりできる子がたくさんいるのも、杉小の良い所だと思います。上級生が下級生に良い見本を見せて、更に良い杉小になってほしいです。

- ・毎朝児童会役員や学級役員が先頭に立ち、朝の挨拶当番を欠かさず続けてくれています。挨拶は相手と心をつなぐ架け橋となります。子ども達が、相手の目を見て、笑顔で挨拶を交わせるよう、ご家庭と一緒に取組を進めて参りたいと思います。

○いつも子ども達の安全・安心に配慮いただき、親としては感謝のひとつにつきます。

○いつも登校の見守り、本当にありがとうございます。おかげさまで、子ども達は安心してよく家で話をします。

○門村の横断歩道に、毎朝先生がいらっしゃるのを見かけます。危ないところなので、とても助かります。ありがとうございます。

- ・ご丁寧に有り難うございます。子ども達が安全に登校できるように、できる限りの取組を進めたいと思います。ご家庭におかれましても、安全な登校についてお子様への啓発をよろしく願います。

○いつもありがとうございます。毎日、たのしく学校に行っています。

○校長先生をはじめ先生方がいつも子ども達一人一人のことを気にかけて下さっているのが伝わってきます。少人数ならではの良さを享受できて感謝しています。

- ・保護者やご家族の皆様と同様に、子ども達は私たちの宝です。子ども達の笑顔は私たちのエネルギーとなり、子ども達の喜びは私たちの幸せでもあります。子ども達の笑顔がたくさん見られるよう、子どもに寄り添いながら子ども目線で教育活動を進めて参ります。

○体育ノートをもっと活用して、色んな運動をしてほしいです。朝の時間に英単語・速読など、時間があつたらいいなと思います。高学年の学力アップのため、がんばりタイム等の放課後の授業を！

- ・ いろんな運動に触れる機会を持つことは重要なことです。子ども達に体力づくりへの関心や意欲を高めるために、更には保護者の皆様にお子様の体力がどのような状況かを知っていただく手だてとして、学校独自の「体育ノート」を作成し、活用しているところです。ただこの2年間はコロナ感染を防止するため、種目によっては実施を見送らざるを得ない運動が出てきました。今後は、体育ノートの一層の充実を図りながら、コロナの感染状況に合わせて、積極的に多様な種目に触れる機会を持つよう努力してい参りたいと思います。朝の学習については、始業前の15分間を利用し、火曜日から金曜日まで年間を通じて『読書タイム・速読解学習・計算力育成』を行っています。特に今年は、速読解学習を新規に取り入れ、問題文や題意を素早く読み取る力を育成してきました。今後は成果を検証しながら、更なる充実を図る予定です。英単語学習も小学校においても大切な学習になってきていますが、1日15分、週に4日間という限られた時間の中では、欲張るよりも、現時点の取組を継続することで力を伸ばしていきたいと思います。また、がんばりタイムは1・2年生で年間約30回（1回につき60分間）実施しております。他の学年については、週当たりの授業時間が多いために、実施する事は難しい状況です。ただ、休み時間等を使い間違い直しをしたり、補充学習を実施したりしております。

○学習面での自発的な取組方としまして、子ども親ができることがあれば考えていきます。学校の勉強ではなく、「読書」の大切さをどこかで気付かせて自発的に読んでほしい。毎日の本読みよりも「日本の歴史」や「国の成り立ち」など、自分の住む国や地域のことをもっと知ってほしいと思います。

- ・ 心強いご意見をいただき有り難うございます。『読書の習慣化』はアンケートの考察にも上げていますように、毎年課題となっております。学校でも子ども達の読書習慣を図るための方策を全職員で協議しておりますが、保護者の皆様のお知恵もお借りできれば有り難いです。どうかご協力をお願いいたします。

○高学年の組体操がないのは残念ですが・・・来年は何かダンス的なことができたらいいなと思います。

- ・ ご意見有り難うございました。来年度の運動会の種目については、今後のコロナの感染状況により変わってくると思います。コロナ前の状況に戻ることを願うばかりですが、ウイズコロナを意識しながら教育活動をを進めることを強いられる可能性もあります。来年度時期が来ましたら、種目等について検討することになります。

○最近、通学中の子供の列に車が突っ込むという事故のニュースが多くなっているように思います。杉小の通学路でも歩道のない所もあると思いますので、何か対策があれば良いのではないかと思います。

・悲しいニュースが飛び込んでくる度に、心を痛めます。また対岸の火事ではなく、どこでも起こりうる惨事として、危機管理の徹底を図ることが重要です。本校では、3年前に『かみっこサポーター』を再編成し、地域の力を借りながら子どもの安全安心な生活の一助になるように取り組んでいます。また危険な通学路については、教育委員会に改善を要求したり、通学路の変更を実施したりしております。更には、職員やPTA会員による交通立ち番もお世話になりながら、子ども達の安全確保に努めております。なお、通学路等に危険箇所を見つけられたり危険な遊びをしている児童を見かけられたりしたときは、学校（Tel 36-0009）へ情報提供をお願いいたします。

子ども達の安全安心を確保するのにやり過ぎと言うことはありませんので、ぜひともかみっこサポーターへの会員登録をお願いいたします。会員登録いただける方は学校へ連絡ください。よろしく申し上げます。

○夏休みの課題の絵ですが、おじいちゃんおばあちゃんの絵、毎年課題にしなくても良いと思います。

・「敬老の日発祥のまち」にちなみお年寄りを大切にする気持ちを育てたり受け継いだりする機会として、多可町が主催となり「おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」が企画されました。この絵画展も今年度で32回を数えております。おじいちゃんおばあちゃんと心のキャッチボールをしながら絵を描くよい機会としてとらえ続けていく予定にしております。

○ペーパーレス化を進めて下さることを要望致します。

○リモート授業の準備なども進められているようですが、保護者へのお手紙もできる限りスマホでみられるように進めていただきたいです。ラインの公式アカウントや連絡網アプリなどで出欠連絡やアンケートなどもできるようになれば、先生方の負担も軽減、保護者としても助かります。

・11月の保護者向けアンケートをChromeBookで実施したように、学校でもできるところからペーパーレス化を進めております。今後は保護者向けのご案内やお知らせも徐々にペーパーレス化を進めたいと思っております。また、ご案内やお知らせだけでなく、今後は日々の健康観察や出欠連絡、アンケートの回答や懇談時間のお知らせ等、スマホを通じて保護者の皆さんと相互連絡できるようにしていきたいと考えています。セキュリティの問題などもありますので、従来からの「はなまる連絡帳」とGoogleのアカウントを用いたものが中心になってくると思います。